

(仮称) 佐久都市計画道路 1・4・1号 南牧佐久線
環境影響評価方法書に対する南牧村長意見

意見内容

(1) 所管事項に関する環境の保全の見地からの意見

【全般】

- ・当村の環境保全には十分な調査・予測・評価がなされるよう配慮いただくとともに、環境影響評価の手続きを円滑に進め、当該事業の早期実現と効果発現がなされるよう特段のご配慮をお願いする。
- ・中部横断自動車道の建設方法が示されていないため、環境に対する影響も今後決定される工法により左右されてくると推察するが、現時点で懸念される事項について意見する。
- ・決して肥沃ではない大地を開拓し、たゆまぬ努力の末に日本有数の高原野菜産地となった野辺山高原の圃場や住民の生活環境に十分配慮し、これらに対する影響が最大限回避・低減されるように検討を行っていただきたい。また、ルートを選定にあたっては、農地に残地が生じる場合は、その残地の形状にも配慮し、当該地域における大規模な農業経営に支障の少ないルートとなるよう配慮していただきたい。
- ・標高1,300mを超える当村の気象条件は大変厳しく、特に冬季の気温低下と視界不良となる程の風雪は想像を超えるものがある。当然高速道路完成後は除融雪が頻繁に必要となると思われるが、風雪対策に万全を期すと共に、融雪剤の農地への流入や飛散、地下水への影響等について、回避・低減できるよう配慮願いたい。

【大気環境】(大気質、騒音、振動、低周波音)

- ・約2,000軒もの別荘地を抱える当村は、都会の喧騒を離れ、高原の静寂を求めて別荘を購入する人が多く、高速道路ができることによる騒音への懸念が聞かれる。また、村の人口より多い畜産牛等は、騒音や振動に非常に敏感であり、ストレスによる搾乳量の減少が懸念されている。このような地域特有の環境への影響について十分に配慮していただきたい。

【水環境】(水質、水象)

- ・当村に於いては、八ヶ岳東麓に広がる山林に育まれた水が、豊富な地下水や湧水となり農地や牧草地を潤している。また、その貴重な湧水や湿地帯等では希少動植物が生息している。さらに、南牧村営水道の一部はその水脈の地下水をくみ上げて使用しており、地下水の渇枯は住民生活の存続にかかわる。以上のことから工事期間中の影響も含めた十分な調査・予測・評価がされるよう配慮していただきたい。

【土壌に係る環境その他の環境】（地形及び地質、日照障害、電波障害）

・5月から10月にかけて栽培収穫されるレタスをはじめとする高原野菜は、地形変化による地下水の変動や盛土構造物等による日照障害に生産量を大きく左右されるため、その影響について十分な調査・予測・評価がされるよう配慮していただきたい。

【動植物及び生態系】

・野辺山高原をはじめ、当村には多くの動植物が生息し、希少生物も数多く報告されている。特にフクロウ類、コミミズク等の猛禽類や、ヤエガワカンバやヒメバラモミ、サクラソウ、タルマイスグ等の絶滅危惧種の植物も確認されるなど、日本でも分布が限られている希少種が生育し、学術的価値が高い場所とされている。このような八ヶ岳周辺の森林の生態系及び生物多様性が十分保全されるよう対策と配慮をしていただきたい。また、当村にはこれらの学術的専門機関が存在するため、それらの意見も参考にし、工事期間中の影響も含めた十分な調査・予測・評価がされるよう配慮していただきたい。

【景観・ふれあい活動の場・文化財】

・当村は天文学者が選ぶ「日本三選星名所」に選出され、その壮大な星空を求め多くの観光客が訪れるうえ、「国立天文台野辺山宇宙電波観測所」が立地するなど、その環境は世界に誇るものであると自負しているところである。高速道路建設による光害等で、この美しい星空が失われることのないよう、十分な調査・予測・評価がされるよう配慮していただきたい。

・当村の野辺山高原から見る八ヶ岳は、雄大かつ優雅な眺望をなしており、その景観は圧倒的な美しさであり、住民はもとより多くの観光客を癒してきた。事業実施によりこの誇るべき眺望を阻害することのないよう、細心の注意を払い調査・予測・評価がされるよう配慮していただきたい。